

AGU NEWS No. 28

青山学院大学

AGUニュース第28号
[2005年8月～10月号]
青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111(代表)
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



相模原キャンパス

特集  AOYAMA
GAKUIN
UNIVERSITY

相模原キャンパス フレッシューズ座談会

AGU TOPIC
2004年度の進路状況について

TOPICS

大学院の現状とこれから
第3回青山学院「会計サミット」
WTO研究センターとモンゴル国立大学の共同研究プロジェクト始動

報告・お知らせ

硬式野球部全日本大学野球選手権優勝!
青山学院における個人情報保護への取り組み

誌上公開講座

教養コア科目・社会理解関連科目
「現代社会の諸問題(総合科目)」

INFORMATION

夏期休業期間中の窓口案内
2006年度入学試験日程

フレッシュャーズ座談会



「居心地の良いキャンパス」をめざした相模原キャンパス開学、そして本学独自の全学共通教育システム「青山スタンダード」導入から3年目……。仙波憲一副学長が、この4月に入学したばかりの1年生2名に本学での学びや学生生活についての手応えをうかがいました。



相模原キャンパスの 広さときれいさに驚く!

仙波 別府君はなぜ青山学院大学を選んだの?
別府 僕は町田市に住んでいるので、近くに開学した相模原キャンパスのことは、高校時代から意識していました。ある時、母の友人である青山学院大学の卒業生の方から「学生時代は良い友人をいっぱい作って、とても楽しかった」という話をうかがって、青学での大学生活への期待がふくらみ、迷うことなく志望校に決定しました。実は自分には少々レベルが高い大学かもしれないと思っていたのですが、念願になって入学できてとてもうれしかったです。学部を決めるのには少々迷いもありましたが、卒業後の就職のことも考えて、これからの社会でますます重要性を増す経済学を学ぼうと経済学部を選択しました。

仙波 実際に入学してみて、大学生活は期待通りでしたか?

別府 ええ、とても満足しています! 学部やサークルを通じて、友人もたくさんできましたし、授業も期待以上に面白い……。そしてとにかくキャンパスの広さときれいさには驚きました。キャンパスがとても広くて、実はまだまだ知らない施設がたくさんあります(笑)。一緒にサッカーのサークルに参加している友人がトレーニングセンターのジムを

利用しているので、今度、ぜひ体づくりのため利用したいと思っています。

村田 施設といえば、授業の情報や先生の所在がわかる情報端末がとても便利です。情報処理教育の施設も充実していると思います。ITスキルは、今後の専門の勉強にも、社会での仕事にも欠かせないものですから、好きな時間に自学自習できるIT講習会(情報スキルI)にはなるべく時間を作って参加するようにしています。

仙波 村田さんは千葉県から遠距離通学しているのですか。大変でしょう?

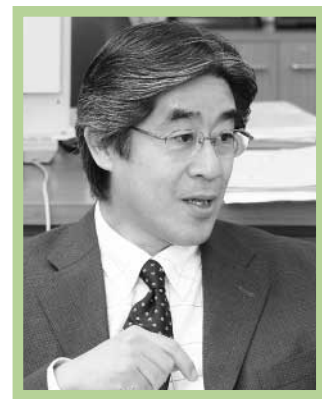
村田 ええ、片道2時間半かかります。でも、ただ苦労して来るだけのキャンパスだと思いますよ。入学当初は、慣れない大学生活に何かと気疲れしてしまい、通学の電車のなかでウトウトしてしまうことも多かったのですが、ようやく最近、長い通学時間を授業の予習などに有効利用するようになっています。

「青山スタンダード」科目の 魅力とは?

仙波 村田さんが経営システム工学科を選んだ理由は?

村田 私は理系(自然科学系)ですが、経営というものに関心があり、大学では工学的なアプローチで経営を学びたいと思っていました。学びたい分野ははっきりしていたのですが、別府君とは逆に大学選びではかなり悩みました。最終的に青山学院大学に決めたのは、全学共通教育の「青山スタンダード」への興味です。

仙波 「青山スタンダード」は相模原キャンパス開学(2003年度)と同時にスタートした全学共通教育のカリキュラムで、まだ改善すべき点もあ



仙波憲一 学務・学生担当 副学長
(青山スタンダード教育機構 機構長)

りますが、それらを修正し、学生にとっても、教員にとってもより学びやすく、教えやすいカリキュラムと授業内容にグレードアップしていく予定です。二人とも今年は多くの「青山スタンダード」科目を受講していますが、どのような印象を持っていますか?

村田 人文・社会科学系、自然科学系のワクを超えた知識を学べるのは、やはり大きな魅力です。たとえば、私と別府君は理工学部の澤邊厚仁教授の「フレッシュャーズセミナー」で一緒に学んでいます。人文・社会科学系の学生はやはり私たち自然科学系の学生とは違う発想で物事を考えていて、それがとても刺激になります。

別府 そうですね。企業で技術者として活躍されたキャリアを持つ澤邊先生の話も興味深いし、「フレッシュャーズ・セミナー」は、僕の大学生活の楽しみの一つになっています。何人かの先生がオムニバス形式で講義を展開される教養コア科目の総合科目とても新鮮です。僕は総合科目で法学部の西澤教授の講義を受けて以来、法律というものへの関心が高まりました。1年生のうち学部専門分野以外の知識を得て視野を広げることは、3~4年で専門分野を中心に学ぶ際にも大いに役立つものと思っています。

村田 私は語学の授業が楽しいですね。「エッセンシャル・イングリッシュ」では、少人数のユニッ

トに分かれて英語で発表を行いました。私は人前で話すことが苦手でしたが、この授業でプレゼンテーションの訓練をしました。そして今いちばん夢中なのが、第2外国語の中国語の授業です。

仙波 近年、第2外国語では中国語と韓国語の人気の急上昇しているんです。

別府 僕も中国語を学んでいます。やはり中国の急速な経済発展を考えると、これからのビジネスで中国語の能力が求められるケースが増えてくるのではないかと考えています。

仙波 第2外国語では、来年度からより語学力をアップさせたい学生のために2年次からの「インテンシブコース」(AGU NEWS Vol.27・誌上公開講座参照)をスタートさせる予定です。もし、別府君と村田さんが、将来仕事などで使える中国語をマスターしたいと思っているのなら、ぜひ履修してみてください。

大学の授業は学生と教員の コラボレーション

仙波 「青山スタンダード」を含めた授業を通して、高校までの「勉強」と大学の「学問」の違いを感じることはありますか？

村田 私は先生の教え方や教えるスタンスに違いを感じます。大学の先生は、予想に反してむしろ高校までの先生より学生との距離が近いように思えます。特に語学や演習形式の授業ではそうですね。先生が教壇から一方的に講義するのではなく、教室を歩き回り、学生と対話しながら教えてくれるスタイルが、私にとってはとても新鮮でした。また、教科書の内容にこだわらず、関連する分野の幅広いお話をしてくださるところも高校までの勉強とは違いますね。

別府 大学の授業でもっとも感動したのは、先生が熱く語る授業が多いことですね。専門家の迫力を感じます。そんな授業では、先生の熱心さに圧倒されて、こちらがつい身を乗り出して聞いています(笑)。

仙波 教員への評価が高いようで私もうれしいのですが(笑)、実は大学の授業というのは、教員の方だけで成り立つものではありません。村田さんが感じたように、学生と教員のコミュニケーションによって双方が力を合わせて創り上げていくものであり、お二人のように授業への参加意識を持つことがとても重要なのです。

村田 ただ、高校との違いで戸惑いを感じることも



もあります。たとえば、先ほど言ったように授業が必ずしも教科書通りではないですし、先生によって板書のスタイルが千差万別なので、講義ノートの取り方にちょっと苦労しています。

別府 僕もそれはありますね。授業でのノートの取り方はこれでいいのだろうか……と試験のことを考えて不安になることがあります。それから、思いのほかレポートが多いので苦労しています。

仙波 ノートの取り方やレポートの作成は大学での学びの大きなポイントになります。最初のうちは戸惑うこともあるでしょうが、あせらず、しかし積極的に取り組んでください。そして授業や学生生活を通して感じた疑問、あるいは不満などがあれば、遠慮なく私たち教員にぶつけてください。個々の授業については担当教員に直接尋ねてもかまいませんし、カリキュラムや大学生活全般については、大学ホームページや情報端末から、学長室へ意見や注文をメールで送付できるようになっています。送付された学生からのメールは、学長をはじめ私たち大学執行部のメンバーがすべて目を通して、即、改善を図る態勢を整えています。先ほど私は「授業は学生と教員の双方で創り上げるもの」という話をしましたが、大学そのものも学生のみならずと教職員が力を合わせて創り上げていくものなのです。今日の二人の話は私にとってとても参考になりました。これからも青山学院大学をもっと良い大学にするために、ぜひ「生の声」を聞かせてください。

(2005年6月7日・相模原キャンパスB棟2階学長室にて)



理工学部経営システム工学科1年
(千葉・日本大学習志野高校卒業)
村田 優香さん



経済学部経済学科1年
(東京都立町田高校卒業)
別府 雄太郎君





2004年度の進路状況について

2004年度は、企業業績の回復に伴い就職環境に明るさが見え、進路状況が好転してきました。昨年度の報告では、「10年ほど前から続いていた就職率の減少傾向が2002年度で底を打って、2003年度には回復傾向に転じたようだ」と推測していましたが、どうやらそれが現実であったと確信を持てるようになりました。景気動向が現在のままで推移すれば、2005年度（現在就職活動中の4年生）の進路状況にも、引き続き期待が持てるようです。

就職と進学を含めた、進路決定状況ですが、2004年度卒業生4,253名のうち、進路決定者数（就職決定、自営、現職継続、大学院等進学、留学）は3,203名で、「進路決定率」は大学全体で75.3%（昼間部78.0%、第二部（夜間部）61.3%）となりました。2003年度の進路決定率が69.5%（昼間部72.0%、第二部（夜間部）55.9%）であったのと比べると、5.8%の増加となっています。

進路決定者のなかで、「就職者率」（就職決定、自営、現職継続）は大学全体で67.2%（昼間部69.0%、第二部（夜間部）58.0%）で、これは前年度の59.1%（昼間部60.9%、第二部（夜間部）49.3%）に比べて、8.2%増と大幅な増加となっています。その半面で、「進学者率」（大学院等進学、留学）は大学全体で8.1%（昼間部9.0%、第二部（夜間部）

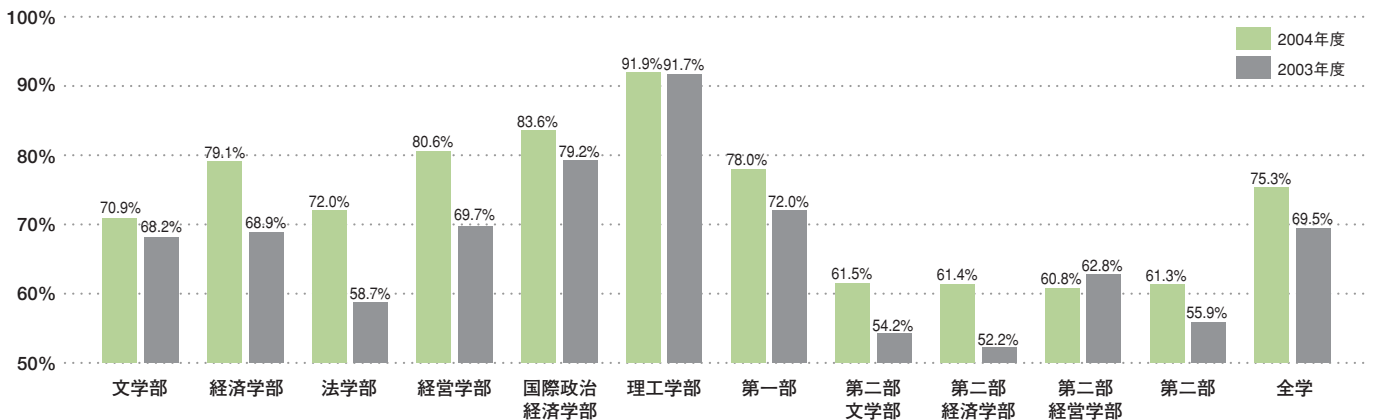
3.2%）で、前年度より2.3%の減少となりました。さらに就職者のなかで、「就職決定者率」（新規就職者）は大学全体で63.2%（昼間部67.8%、第二部（夜間部）38.7%）で、前年度の55.4%（昼間部60.0%、第二部（夜間部）30.7%）に比べて、7.8%の増加となっています。なお、昼間部文系5学部平均の「就職決定者率」は70.8%（前年度61.4%）でした。

一方で卒業時に進路を保留した「進路保留者率」（専門学校進学、各種試験準備、臨時雇用、ボランティア、主婦、進路未定）は大学全体では24.7%（前年度は29.8%）でした。その内訳は、専門学校進学が1.8%、各種試験準備（公務員試験、教員採用試験、司法試験、公認会計士試験、税理士試験など）が6.8%、臨時雇用が5.1%、ボランティア・主婦が0.6%です。

進路・就職センターでは、年間100回におよぶ就職支援行事を通して進路・就職情報を提供すると同時に、学生の個別事情に合わせた進路相談を密に行っていますが（2004年度は約6,000件）、就職だけでなく留学、大学院進学、資格取得などを経た多様な進路選択が年々増えている現状に対応するため、大学の各部署と連携をとりながら、進路支援サービスを一層充実させたいと考えています。

（就職部長 文学部教授 仁科貞文 記）

進路決定率（就職決定、自営、現職継続、大学院進学、留学）



就職者数ランキングベスト20

人文・社会科学系			
順位	企業名	2004年度	2003年度
1	東京三菱銀行	40	12
2	東京都小学校	35	25
3	みずほ銀行	21	7
4	三井住友銀行	21	13
5	東京海上日動火災保険	16	5
6	日本興亜損害保険	14	8
7	神奈川県小学校	13	4
8	警視庁	12	9
9	損害保険ジャパン	12	11
10	積水ハウス	11	4
11	大和証券	11	10
12	日本航空	9	4
13	日本生命保険	9	9
14	野村證券	9	5
15	ユーエフジェイ銀行	9	10
16	エイチ・アイ・エス	8	11
17	大塚商会	8	8
18	三井住友海上火災保険	8	9
19	三菱信託銀行	8	10
20	セブンイレブン・ジャパン	7	5
21	明治安田生命保険	7	5

理工学系				
順位	企業名	2004年度	企業名	2003年度
1	日立製作所	9	キャノン	14
2	日本電気	8	日本電気	8
3	キャノン	7	本田技研工業	6
3	NTTデータ	7	TIS	6
3	オービック	7	日産自動車	5
3	本田技研工業	7	日立情報システムズ	5
7	NECソフト	5	NTTデータ	4
7	ソフトバンクBB	5	キャノン販売	4
7	富士ゼロックス	5	エヌ・ティ・ティ・コムウェア	4
10	日産自動車	4	日本トータル・システム	4
10	ヤフー	4	日本システムディベロップメント	4
12	三洋電機	3	メイテック	4
12	大日本印刷	3	富士通	3
12	大鵬薬品工業	3	日本ヒューレット・パッカード	3
12	東京電力	3	東日本電信電話	3
12	東京三菱銀行	3	日立システムアンドサービス	3
12	トステム	3	オリンパス	3
12	トヨタ自動車	3	野村総合研究所	3
12	東日本電信電話	3	日立製作所	3
12	日立情報システムズ	3	大和総研	3

理工学研究科生を含む

2005年度就職関係行事日程

青山キャンパス(3年生を対象とした主な行事計画)

行事	日程	内容
就活入門シリーズ	6/8(水)・6/29(水)	内定者が語る「3年生の夏休みの過ごし方」
	6/22(水)	学生と社会人の違いとは!?「就活入門講演会」
就職ガイダンス 「就職活動のスタートに備えて」	9/24(土) (①と②) 9/28(水) (③)	①13:30～ ②18:00～ ③15:00～ ※於:青学講堂 3回とも同じ内容です。就職の手引、進路カード、行事予定表等配付。情報誌の申込。
適性検査	10月	自己の適性を知り、進路を考える参考とする(費用一部負担)
就職活動ミニガイダンス①②③	10月初・中旬	〈就職ガイド〉自己分析、企業研究、履歴書、試験について等の説明を複数回実施
就職セミナーI(講演会)	10月	〈職業観・自己分析〉自分らしい生き方を考えるきっかけとする
就職セミナーII(講演会)	10月	〈就職ガイド〉経済状況や情報収集の方法などを解説
テーマ別セミナー	10月	マスコミ、外資系等各業界の仕事内容、採用動向などを解説
ビデオ映写	10月	職種の研究、マナーなど就職活動のビデオを映写
4年生生活報告会	12月	〈就職ガイド〉就職活動を終えた4年生によるパネルディスカッション
女子学生就職セミナー	10月	〈職業観・企業研究〉各業界で活躍するOGの現場からのメッセージ
模擬試験(SPI・一般常識)	10月、11月、12月、2月	採用試験で多く取り入れられているSPI試験、一般常識テストを体験(実費)
自己分析・エントリーシート対策講座	10月、12月、2月	〈自己分析・試験対策〉エントリーシートの書き方を講義し、実際に書いたシートを添削(実費)
学内企業セミナー	11月、12月、2月予定	〈業界・企業研究〉各業界の採用担当者を招き、学内で実施する企業説明会

相模原キャンパス(理工学部3年生・理工学研究科1年生を対象とした主な行事計画)

行事	日程	内容
第1回就職ガイダンス	9月末～10月に予定 詳細については、学生情報サービス、掲示板参照	就職活動に備える最初の行事、「就職の手引」「進路カード」配付。
就職適性検査		自己の適性を知り、進路・就職先を考える助けとする。
各種模擬テスト		採用試験で実際に行われている一般常識、SPI等の模擬試験。

1・2年生を対象とした講演会、セミナー、公務員ガイダンス等を青山・相模原両キャンパスで開催いたします。

※追加、変更等もありますので、進路・就職センター、進路グループの掲示板で必ず確認してください。

※学生情報サービス(学内端末または <http://www.aoyama.ac.jp>)から就職関連情報を掲載します。

本学独自の就職活動支援システムを活用しよう [青山キャンパス進路・就職センター]



一般の就職情報サイトにはない、本学独自の就職情報を提供するシステムで、学生は学内や自宅のパソコンから企業の求人セミナー開催情報、また本学卒業生に関する情報などが閲覧可能です。さらに、就職希望や内定の報告を行ったり、「就職の手引」のPDFファイルをダウンロードすることもできます。

就職活動支援システムは、有名企業の採用活動が一段落した後も、多くの「求人情報」「セミナー情報」を提供しています。企業の2次募集や追加募集では、大学を限定して告知する場合がありますので、ぜひ本システムを活用し、貴重なチャンスを生かしてください。

●就職活動支援システム・利用メニュー

【就職の手引】3年次の第1回就職ガイダンスに配付する「手引」のPDFファイルです。

【企業検索】企業条件(名称、業種、所在地等)と求人条件(対象年度、募集学部・学科、職種等)から、企業を検索できます。個別の企業にOB・

OG名簿があるかどうか検索できます。

【セミナー検索】会社説明会やセミナーの開催情報を検索できます。

【入社実績検索】過去10年間にわたる本学卒業生の各企業への入社実績を検索できます。

【就職希望入力】希望業種・職種を登録できます。

【内定入力】内定後の進路先報告を直接入力・送信できます。

【試験報告入力】入社試験報告を直接入力・送信できます。

【提出書類】進路決定届や入社試験報告書などの報告用紙をダウンロードできます。

【リンク】各就職情報関連サイトへのリンク集とWeb Testです。

【お知らせ】「開室時間」「採用中止企業情報」「行事予定」などの速報を掲示します。

※なお、大学院生、理工学部生および人文・社会科学系学部1・2年生は、「就職の手引」「検索メニュー」「リンク」のみ利用することができます。



就職情報サービス画面

相模原キャンパス進路グループでは、「理工学部就職情報システム」を運用しています。

「大学院の現状とこれから」 本学大学院・専門職大学院への進学について



学長
武藤 元昭

2005年4月、会計プロフェッション研究科開設により、本学はわが国ではきわめて珍しい3つの専門職大学院を擁する私立大学になりました。本学がこうした先進的な試みを実現することができた要因は、やはり、本学に優れた「人材」がそろっていたことが挙げられると思います。本学各学部には、卓越した研究者であり、優れた教育者でもある多数の教員スタッフがそろっています。

専門職大学院の登場によって、従来の研究者育成型の大学院は、今、大きな岐路に立たされています。そのため、理論研究と実務教育のバランスを考慮しながら、どのような棲み分けをしていくかが、現在の大きな課題です。2005年度からスタートした法学研究科「ビジネス法務専攻」は、その課題に対するひとつの解答ともいえます。また、大学院における研究成果を、学外に向けて積極的かつわかり

やすく発信していくことも重要です。理工学研究科では、北里大学医学部との学術交流協定締結をはじめ、海外の大学との交流も積極的に進めているうえ、21世紀COEプログラムでは、国際シンポジウムを活発に開催したり、若手研究者の育成を大きな目的のひとつとしていたりなど、同プログラム委員会による中間評価では最上位の評価をえました。

今後は研究領域を超えた研究科間のコラボレートの必要性も生じて来ます。さらに、社会人の受入れも今後益々必要な課題となります。そうした本学大学院の実力を、もっと社会に対してしっかりとアピールしていくことも考えなければなりません。

私は大学・大学院本来の社会的役割を考えると、決して時代や社会に振り回されずに、今こそ「青山学院大学が理想とする教育・研究とはどのようなものなのか?」という点を全学で考えていくべきだと思っています。時代の流れを追うのではなく、われわれが新しい時代を創るという意気込みで、大学院教育の充実に取り組んでいきたいと考えています。

2005年度大学院在籍学生数

博士前期課程・修士課程・専門職学位課程 2005.5.1現在			
研究科・専攻		学内進学者数	在籍学生数
文学	教育学※	—	23
	心理学※	6	18
	英米文学※	—	38
	フランス文学・語学	—	9
	日本文学・日本語	—	12
	史学	—	31
小計	6	131	
経済学	経済学	—	16
法学	私法	1	12
	公法	1	18
	ビジネス法務●	—	46
	小計	2	76
経営学	経営学※	4	38
理工学	物理学	—	1
	化学	—	—
	機械工学	—	2
	電気電子工学	—	1
	経営工学	—	—
	理工学	135	362
	小計	135	366
	国際政治経済学	国際政治学※	2
国際経済学※		1	15
国際ビジネス※		—	4
国際コミュニケーション※		2	53
小計		5	124
国際マネジメント★	国際マネジメント※	—	236
法務★	法務	—	111
会計プロフェッション★	会計プロフェッション	—	82
合計		152	1180

学内進学者数は学内進学者選抜試験による2005年4月入学者数。
在籍学生数には、博士後期課程の人数を含みません。
※印の専攻は昼夜開講制。
●印の専攻は平日夜間および土曜日の開講制。
★印の研究科は専門職大学院。

2004年度教員採用試験報告

数多くの教員を社会に輩出し、社会から高い評価を得ている本学。今年度は48人の「教師の卵」が全国の学校現場に巣立っていきました。

2004年度教員免許取得および2005年度教員採用状況 2005.5.1現在

	免許状取得件数				採用者数						合計	
					公立学校		私立学校					
	昼間部		第二部(夜間部)		昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)		
	1種	2種	1種	2種								
幼稚園	50	0	18	0	1	0	4	0	5	0	5	
小学校	81	2	19	6	20	7	1	0	21	7	28	
養、ろう学校	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	
中学校	英語	76	1	8	0	4	1	2	1	6	2	8
	フランス語	1	0	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	国語	27	0	6	0	0	0	1	0	1	0	1
	社会	37	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	理科	19	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	数学	0	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	小計	135	1	29	6	24	1	3	1	24	3	28
高等学校	英語	88	/	10	/	3	0	0	0	3	0	3
	フランス語	1	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	国語	37	/	5	/	0	0	1	0	1	0	1
	地理歴史	51	/	12	/	0	0	0	0	0	0	0
	公民	26	/	5	/	0	0	0	0	0	0	0
	理科	21	/	/	/	1	0	1	0	2	0	2
	数学	0	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	商業	3	/	2	/	0	0	0	0	0	0	0
	工業	1	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0
	小計	297	/	64	/	29	8	10	1	39	9	48

※免許状取得件数の計は人数計。(大学院生および科目等履修生は除く)
採用者数は2005年5月1日現在届け出のあった者のみ(非常勤および臨時講師は除く)。

総合研究所 eラーニング人材育成研究センター設置

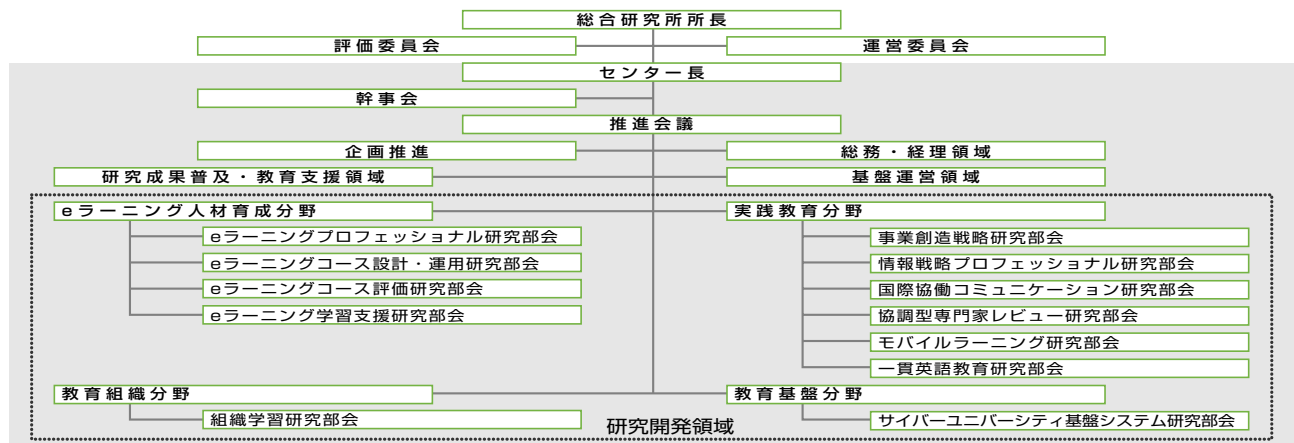
2005年4月に、総合研究所内に「eラーニング人材育成研究センター(eLPCO: Research Center for e-Learning Professional Competency)」が誕生しました。皆様のお役に立てるよう、次のミッションとビジョンを掲げて活動していきますので、よろしくご支援の程お願いいたします。なおeLPCOでは、教職員の方ならどなたでも利用できる学習管理システム(サイバーキャンパスシステム)のサービスを提供しておりますので、いつでもお問い合わせください。
(URL:<http://elpc0.a2en.aoyama.ac.jp> Email:elpcopm@a2en.aoyama.ac.jp)

ミッション

- ICT(Information Communications Technology)を有効に活用した新たな教授法や教育システムの研究・開発と普及。
- eラーニング専門家、ならびに国際的に活躍できる人材育成(協働コミュニケーション、技術経営、一貫教育等)の研究とその制度の確立。

ビジョン

eLPCOは、青山学院大学ならびに青山学院におけるICTを有効に活用した教育研究活動の向上を支援及び推進し、社会との連携を図り、専門的な人材育成の進展に寄与することを目的とする。



法務研究科が模擬裁判(刑事)を実施

2005年5月14日および21日に青山キャンパス6号館に設置されている模擬法廷を使用して、法務研究科(法科大学院)院生らによる初めての刑事模擬裁判が実施されました。事件は、傷害事件が取り上げられましたが、これは実際にあった事件を模擬裁判のために若干の修正をしたものです。昨年春入学した1期生2年短縮コースの14名がそれぞれ裁判官役、検察官役、弁護人役、書記官役および廷吏事務官役を担当し、本年は人数の関係もあり、被告人および証人役は同じく昨年春入学した1期生3年標準コースの諸君にお手伝いをお願いしました。



院生らは新年度の開始早々から各グループに分かれて準備をしましたが、当日は本当の法廷を上回る立派な設備が整えられた模擬法廷で、裁判官役は本物の法

服を、書記官役も本物の職服をそれぞれ着用し、検察官役、弁護人役もあまり日頃は見ないスーツを着用して、本当の法廷のような厳肅な雰囲気の中で手続が進められました。初日の14日は午前午後にわたって冒頭手続から審理終結までの手続が行われ、2回目の21日は裁判所による判決宣告および討論・講評が行われて、閉幕しました(引き続き、6・7月に民事模擬裁判が行われます)。

模擬裁判は、法科大学院における法学教育と実務との架け橋として、重要な授業の一つに位置付けられています。終了後の各院生の感想からも所期の目的は十分達成されたのではないかと考えます。また、当日は高等部の皆さんも大勢大変熱心に傍聴されていました。これらの皆さんが近い将来後継者として活躍して下さるようになればと期待しています。(法務研究科教授 岡田良雄 記)

理工学部 井出英人教授が「第14回日本工学教育協会賞」を受賞

理工学部 電気電子工学科 井出英人教授が「第14回日本工学教育協会賞」(社団法人日本工学教育協会)を受賞されました。(社)日本工学教育協会(日工教)はわが国における工学教育の振興をはかり、産業の発展に寄与することを目的に産・学・官が一体となり、技術系人材の育成のために活動している唯一の公的機関です。「日本工学教育協会賞」は協会創立40周年(1992年)を記念し、工学教育の分野において長年にわたり貢献度の著しい個人、会誌に発表された優秀な工学教育論文及び優れた教科書・参考書の著者に対して年次大会時に贈呈されます。井出教授への授与式は、2005年9月9日(金)、広島大学において開催される日本工学教育協会第53回大会にて行われる予定です。

経済学部 美添泰人教授が統計審議会 会長に就任

2005年4月、経済学部美添泰人教授が総務省統計局統計審議会会長に就任されました。同審議会は国勢調査など、指定統計と呼ばれるすべての主要な統計を審議し、わが国の統計制度の改善発達に大きな貢献を果たしています。なお、美添教授は、私立大学から選出された初めての同審議会会長となります。

第3回青山学院「会計サミット」

私達が「会計専門職大学院」修了生に期待するもの—2005年4月に始動した会計専門職大学院へのメッセージ

2005年4月、青山学院大学会計プロフェッション研究科を含め、全国で9校の会計専門職大学院（アカウンティングスクール）が開設され、わが国における会計専門職教育が本格的に始動しました。青山学院「会計サミット」は、こうした時代を予測して2003年に第1回を開催。昨年開催した第2回とあわせて、新しい会計・監査のあり方と期待される会計専門職教育について、広く社会に情報発信を行ってきました。ここでは、2005年6月、会計専門職大学院スタート直後に開催された第3回目「会計サミット」について、公開シンポジウムのコーディネーターを務めた会計プロフェッション研究科・多賀谷充教授にお話をうかがいました。



会計プロフェッション研究科教授

多賀谷 充

今日、会計・監査をめぐる環境が激しく変革している中で、将来の会計プロフェッションの育成を担う会計専門職大学院は、単に公認会計士試験の科目免除や合格者増といった問題を越え、会計・監査という経済社会の根幹を担う専門職の育成という面で、大きな社会的役割を負っていると言えるでしょう。

第3回青山学院「会計サミット」の柱となる第一部の公開シンポジウムは、「私達が『会計専門職大学院』修了生に期待するもの」というテーマで開催しました。お招きしたパネリストは、外部監査、内部監査、企業実務、そして監督当局（行政）を代表する4名の方々。今後、本研究科の教育のグレードアップに役立てていくことを目的に、それぞれの立場から会計専門職大学院とそこで学ぶ会計プロフェッション予備軍への期待、そして私たち教員に対するご意見・ご要望をうかがいました。

たとえば、藤沼氏からは公認会計士の人材不足という現状と「今後、会計専門職大学院の修了者が会計・監査のメインストリームを担う」という力強いメッセージをいただいたほか、数多くの企業再生を手がけてきた斉藤氏は「経営者は数字でモノを語るができなくてはならない」と力説され、企業経営における会計・監査の重要性を示唆されました。今後、会計プロフェッションはいわゆる監査法人だけではなく、こうした企業経営の中核部、コンサルティング業、本学のような教育機関、さらに政府や地方自治体などにも活躍の場が広がっていくことが予想されています。

そして、すべてのパネリストの方々が特に期待し、要望が大きかつ



たのが、健全な経済社会を構築していくために欠かせない「職業倫理」教育の実践です。この部分に強みを持つ本学会計プロフェッション研究科で教育に携わる身として、あらためて責任の重大さを痛感しました。本学では「職業倫理」を必修科目としているという他大学の会計専門職大学院に見られないカリキュラム上の特色を有するとともに、専用校舎を持つ恵まれた環境のなかで、教員と院生が日常的にコミュニケーションをとりながら人間性を磨き、各自の倫理観を高めていく理想的な教育環境があります。米国における会計プロフェッションは、法曹以上の中立性と独立性を担保することにより社会からの信頼を得ていますが、本学会計プロフェッション研究科修了生はわが国における会計プロフェッションを米国同様の地位に高める牽引役となることが望まれているのです。

本学では今後も「会計サミット」を開催していく予定ですが、この場を通してまだまだ社会的認知が不十分な会計監査の重要性をアピールしていくとともに、会計専門職大学院への進学を考えている人々に向けて、真摯なメッセージを発信し続けていきたいと考えています。

多賀谷 充 教授プロフィール

1982年本学経営学部卒業。東京国税局、大蔵省、金融庁を経て、2005年4月より会計プロフェッション研究科教授。担当科目は「ディスクロージャー制度」「証券取引法」「会計行動論」「公認会計士法」など。

第3回 青山学院「会計サミット」

私達が「会計専門職大学院」修了生に期待するもの—2005年4月に始動した会計専門職大学院へのメッセージ

日 時:2005年6月8日(水) 14:00~17:20(開場:13:30)
会 場:青山学院大学 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂
総司会:会計プロフェッション研究科長 鈴木 豊

●開 会 14:00~

●第一部 14:05~16:10 公開シンポジウム

「私達が『会計専門職大学院』修了生に期待するもの」

パネリスト(順不同・敬称略)

池田 唯一 (金融庁総務企画局企業開示参事官)

小川 英明 (富士火災海上保険株式会社 監査・コンプライアンス本部長)

斉藤 惇 ((株)産業再生機構代表取締役社長)

藤沼 亜起 (日本公認会計士協会会長)

コーディネーター

多賀谷 充 (青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授)

(16:10~16:20 休憩)

●第二部 16:30~17:20 特別講演

「米国における会計専門職教育」※通訳あり

Dr.Sri Ramamoorti

(Investigate & Dispute Services, Ernst & Young LLP)

WTO 青山学院大学「WTO研究センター」とモンゴル国立大学の共同研究プロジェクト始動



「WTO研究センター」センター所長
経営学部教授

岩田 伸人

このたび、本学「WTO研究センター」は、モンゴル国立大学（経済学部・社会科学部）との共同研究プロジェクトに着手しました。これは私たちが作成した研究プランをモンゴル側に提示したことによってスタートしたプロジェクトで、当面、モンゴル国立大学の経済学部長、社会科学部長を含む4名、本学からは私と瀬尾佳美国際政治経済学部助教授を含む4名が中心となって進めていきます。共同研究の目的を一言で言えば「日本とモンゴル間における望ましいFTA（自由貿易協定）の提案」です。

FTAとは、関税の引き下げなどによって域内貿易の活性化を図る二国間・複数国間協定で、今、世界中でさまざまな形態のFTAが締結されています。わが国ではシンガポールに続き、今年4月、メキシコとのFTAを締結しました。一方、モンゴルはこれまでどの国ともFTAを締結していません。1997年にWTO加盟後、モンゴルはあらゆる関税をかなり低い水準まで引き下げているので、あえてFTAを締結するメリットはないと他国から判断されているのかもしれませんが、モンゴルには貿易産品として鉱物資源（金、銅）、カシミアぐらいしかなく、その額も非常に小さいものです。しかし、この国には未開発の豊かな自然があり、それは観光資源として大きな価値を有しています。実際、同国では観光関連産業の伸びが近年大きくっており、観光資源＝自然環境がモンゴル経済を支えているといっても過言ではありません。日本人の観光客もそこに大いに貢献しているようです。

今回の共同研究では「エコツーリズム」の観点を取り入れたFTAを構

想しています。エコツーリズムとは、その土地特有の自然環境・生活文化などの資源を持続可能な形で行われる旅行を示す言葉です。近年、隣国・中国を悩ましている砂漠化や黄砂などの問題がモンゴルにも同様に起きており、このまま放置しておくとも素晴らしい大自然が損なわれる恐れがあります。また、モンゴルの広大な草原にはリゾートを楽しむためのインフラがほとんど整備されていませんから、海外旅行の大きなマーケットであるわが国の高齢者にとって気軽に訪れにくい面もあります。そこで、日本からエコツーリズムに関わる技術の直接投資や環境保全型の技術移転を行うことで、自然環境の“質の向上”を図り、モンゴルの観光産業の発展と環境保全の両面に貢献できるのではないか……というのが私たちの構想のアウトラインです。これは21世紀における人類の大きな課題である「持続可能な開発」を重視した「環境保全型FTA形成の可能性」の追究であり、「自由貿易社会の中で生きる世界中の人々にとっての“真の豊かさ”の追究」という本センターの理念にも合致した研究プロジェクトといえるでしょう。すでにこの共同研究の趣旨に賛同いただいた国内の民間財団から助成のお話をいただいており、また国連大学高等研究所からも研究への力強い賛同を示していただきました。本学も協力して今年10月に国連大学で開催される「WTO発足10周年の学術シンポジウム」^(注)においても、「持続可能な開発」がテーマのひとつとして取り上げられる予定です。

なお、共同研究期間は3年間を予定しており、今年もしくは来年には学生を伴った現地フィールドワークも予定しています。研究成果をまとめた報告書は、日本・モンゴル両国政府への政策提言として提出されますが、今後の研究活動を通して、経済的メリットだけではなく「持続可能な開発」を可能にするFTAの可能性を世界に示していきたいと考えています。

(注)「WTO発足10周年の学術シンポジウム」については、次号で取り上げる予定です。ご期待ください。

WTO 研究センター公開セミナー パイオニアの通商戦略(5/18開催) —メキシコと日本のFTA発効以降の取り組み—

メキシコとのFTA締結によって、日本企業が具体的にはどのような対応の変更を行ったのか、あるいはどのような利益の確保を予想しているのか、などを含めたさまざまな疑問を考えるため、講師にパイオニアシェアードサービス株式会社 ロジスティクス事業部 通商担当の細淵元洋氏をお迎えしてセミナーを開催しました。4月1日より発効した日本とメキシコとのFTAは、産業界の貿易利益に、大きなプラス効果を生み出すと期待されています。



4月1日より発効した日本とメキシコとのFTAは、産業界の貿易利益に、大きなプラス効果を生み出すと期待されています。

WTO 研究センター公開セミナー エジプトとのFTA(4/28開催)



昨年9月に、東京で開催された「日本・アジア対話フォーラム」第一回会合において、エジプト（及びサウジアラビア）側より、日本に対してFTA（自由貿易協定）締結の打診がなされたことをふまえて、日本とエジプトとのFTA交渉における課題や、想定される諸問題などにつき、専門家として渡辺松男氏（日本国際問題研究所研究員）よりご報告頂きました。

エジプトは、90年代よりFTAを積極的に推進しており、とりわけ、昨年発行したEUとの連合協定は、エジプト経済のみならず、エジプトに進出する各国企業にも影響を与えようと考えられています。

フランス文学科主催、ピエール・ギヨタを囲む国際シンポジウム LANGAGE, CORPS, POLITIQUE（言語・肉体・政治）

2005年5月25日（水）18:00より青山キャンパス総研ビル12階大会議室にて、標記の国際シンポジウムが開催されました。ピエール・ギヨタ（Pierre GUYOTAT）氏は、1940年生まれ。文壇の主流から外れたところで特異な主題と文体で独自の文学を紡ぎ出して来ましたが、近年ますます評価が高まっています。『五十万人の墓』や『エデン、エデン、エデン』がつとに邦訳されていますが、今回初めて来日を果たされた機会に、本学にお招きしました。パネリストとしては、鶴飼哲氏（一橋大学）、宇野邦一氏（立教大学）、ミカエル・フェリエ氏（中央大学）という、いずれも特に現代フランス文学の第一線で旺盛に活動されている著名人をお願いし、これに本学仏文科の専任待遇助教授フランソワ・ビゼが加わり、司会に当りました。パネリスト諸

氏は、例えばギヨタ氏がアルジェリア戦争での性的暴力が解放戦線の側にもあったことを容赦なく描き出したこと、出来合いの言語で表現できない事柄を表現するための苦闘、ワグナーのライトモチーフの回帰を思わせるその文体の音楽性、などについて熱心に語られました。使用言語はフランス語および日本語で同時通訳付き。予想を上回る盛況で、半数近くが学外からの参加者で、日本におけるフランス文学という枠を越えた、画期的出来事になりました。



硬式野球部 全日本大学野球選手権優勝! 全国大学野球の頂点に!

6月13日(月)、明治神宮球場にて全日本大学野球選手権決勝が行われ、本学硬式野球部が近畿大学に2-1で勝利し、1999年以来6年ぶり4度目の優勝を果たしました。本学硬式野球部は出場した4度のうちすべて優勝しており、本選手権での不敗記録をさらに伸ばしました。

本学は7回に1点を先制されるも、その裏で同点に追いつき、延長10

回裏の2死2・3塁の場面で夏井一志選手(文学部史学科4年)がサヨナラ安打を打ち2-1で勝利しました。

高市俊投手は最高殊勲選手、大崎雄太郎外野手は、打率6割4分7厘で首位打者、國井康太マネージャーがベストマネージャー賞として個人表彰を受けました。



メンバーに胴上げされる羽坂理事長



河原井監督を胴上げ



小川勇夫相模原市長を表敬訪問し、硬式野球部と女子バレーボール部は優勝を報告しました。



4試合を投げきった高市俊投手(国際政治経済学部3年)

体調は4試合の中で一番よく、楽しみながら投げることができました。7回にホームランを打たれた直後は、少し冷静さを失い、次のバッターにボールを2つ続けて投げてしまいましたが、河原井監督のタイミングの良いタイムで立ち直ることができました。



最高殊勲選手の高市投手

決勝打を打った夏井一志選手(文学部史学科4年)



決勝打を放った夏井内野手

サヨナラの決勝打は夢のようでした。チーム力というのを大事にやってきたので、自分の力ではなく、みんなの力だと思います。怪我をした選手や試合に出られなかった4年生のためにも打って本当に良かったです。

本郷茂硬式野球部部長(経済学部教授)

近畿大学は実に強く、正直言って勝てるとは思っていませんでしたが、選手たちには負けない野球をしてほしいと言っていました。実は昨日の試合が終わったあとに、先攻か後攻かを定める会議がありまして、マネージャーの國井君が「絶対後攻をとる」と言って後攻をとってきたので、それが今日のサヨナラにつながったのだと思います。このような素晴らしい結果を出せたのも、選手たちの日頃の努力、河原井監督と善波コーチのご指導、そして何よりOBをはじめ、地域の皆様、青山学院の皆様の皆様のおかげです。

河原井監督が日米大学野球選手権大会日本代表監督に

6月13日(月)、全日本大学野球連盟から日米大学野球選手権大会のオールジャパンメンバーが発表され、代表監督に本学の河原井正雄監督が選出されたほか、本学から高市俊投手、田仲勝治捕手、小窪哲也内野手、横川史学外野手、大崎雄太郎外野手、國井康太マネージャーが選出されました。

東都大学野球春季リーグ戦優勝!

5月18日(水)、本学硬式野球部が、東都大学野球春季リーグ戦の対東洋大学第2回戦において、1-0で勝利し、本リーグ戦3季ぶり10度目の優勝が果たされました。

初回に小窪哲也選手(経済学部2年)のソロ本塁打で1点を先制した本学は、高市俊投手(国際政治経済学部3年)の好投などで東洋大学打線を0点に抑えて勝利しました。その後の5月26日(木)、本学硬式野球部は7勝2敗で全日程終了し、円谷英俊遊撃手(経済学部第二部3年)が打率4割4分4厘(27打数12安打)で首位打者賞を受賞、高市俊投手(国際政治経済学部3年)が今リーグ戦MVPと最優秀投手賞を受賞しました。また、ベストナインに、円谷遊撃手と高市投手、山川広大一塁手(経済学部第二部3年)が選出されました。



女子バレーボール部、春季関東大学女子バレーボール戦で優勝!

青山学院大学女子バレーボール部は、春季関東大学女子バレーボールリーグ戦において2年連続3度目の1部優勝(通算成績9勝1敗)を果たしました。個人賞でも最優秀選手賞・レシーブ賞にキャプテンの山本美萌さん、セッター賞に秋山美幸さん、猛打賞に内田暁子さんが選出されました。その3名にリーグ戦の感想や今後の目標などをうかがいました。

山本美萌さん(法学部法学科4年)



今年のチームは小柄なのですが、正確なレシーブを起点とするコンビネーションと速攻という持ち味を活かして勝ち進むことができました。優勝の瞬間は……不思議と落ち着いていて、その後、周りの人たちから「おめでとう!」と言われて、ようやく優勝の感動がわいてきました。今年はまだ、東日本インカレ、秋季リーグ戦、全日本インカレという大きな大会があります。去年は逃した四冠を手にすることが私たちの夢ですが、まず一戦一戦を確実に勝つことを考えていきたいと思っています。応援も私たちの力になりますので、これからの私たちの戦いぶりに注目してください。

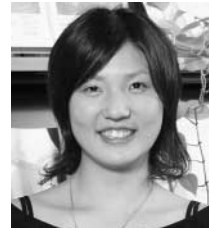
優勝の瞬間は……不思議と落ち着いていて、その後、周りの人たちから「おめでとう!」と言われて、ようやく優勝の感動がわいてきました。今年はまだ、東日本インカレ、秋季リーグ戦、全日本インカレという大きな大会があります。去年は逃した四冠を手にすることが私たちの夢ですが、まず一戦一戦を確実に勝つことを考えていきたいと思っています。応援も私たちの力になりますので、これからの私たちの戦いぶりに注目してください。

秋山美幸さん(文学部史学科3年)



春季リーグ戦で優勝できた理由は、私たちが目標とする「早いコンビバレー」がうまく機能したこと、一人ひとりの「勝ちたい!」と思う気持ちの強さだと思います。私は「セッター賞」をいただきましたが、セッターというポジションはボールを拾ってくれるレシーバーと敵陣に打ち込むアタッカーがいて初めて成り立つものなので、私個人ではなく、チームのみんなで取った賞だと思っています。特に昨年果たせなかった全日本インカレでは絶対に優勝したい! 大学女子バレーの頂点に立ち、生瀬監督を「日本一の監督」にしてあげたいです。

内田暁子さん(経営学部経営学科2年)



決勝では2セットを先取した時に、「このまま緩まずに試合を進めれば、ぜったいに優勝できる」と確信。3セット目は1点1点を確実に積み重ねることだけを考えて、落ち着いてプレーできたと思います。チームは、1年生から4年生まで部員同士とても仲がよく、特にコートの中では先輩・後輩関係なく抜群の一体感があります。このチームワークの良さも、私たちの強さの秘訣だと思います。試合の時にたくさんの観客がいると、自分の気持ちも、チームの雰囲気もますます盛りあがりますので、青山学院記念館(大学体育館)で行われるホームの試合の時などは、応援よろしくお願いします。

2005年度新入生歓迎球技大会ならびに

第1回フットサルチャンピオンシップトーナメント(理工学部長杯)開催

6月12日(日)、相模原キャンパス A棟アリーナにて、2005年度新入生歓迎球技大会が開催されました。種目はバスケットボールで、一般38チーム、女子12チームによるトーナメント戦形式で行われ、男子はチーム「ハイパボリック」、女子はチーム「HAMYS」が優勝しました。

また、同日、第1回フットサルチャンピオンシップトーナメント(理工学部長杯)決勝戦が行われ、チーム「超殿堂」が優勝しました。このトーナメントは、相模原キャンパスにフットサルコートが新設されたことを機に、フットサルを通して学部学科を超えた交流の場を提供することを目的として開催、学生の自主性を尊重した試合運営で、5月9日(月)～6月10日(金)に第1回戦・第2回戦を昼休み時間帯に行い、6月12日(日)には準々決勝から決勝まで行われました。



男子優勝チーム「ハイパボリック」



女子優勝チーム「HAMYS」

今秋、「町田グラウンド」誕生

学校法人青山学院は、2005年3月、東京都町田市にある清水建設(株)の「清水建設町田グラウンド」用地を購入しました。この新しいグラウンドの名称は「青山学院大学町田グラウンド」に決まりました。

2003年4月、青山と相模原の2キャンパス制となるに伴い、新たに緑が丘グラウンドを開設しましたが、いくつかの体育会団体等に対して必ずしも十分な練習環境を提供できていませんでした。今回のグラウンド購入はこうした不便の解消を図るためのもので、広さや施設設備に加え、青山・相模原両キャンパスからのアクセスも良好です。町田グラウンド用地内にはクラブハウスも完備され、豊かな自然に囲まれた爽やかな環境の中で、のびのびとスポーツを楽しむことができます。体育会各団体を中心とした大学生をはじめ、学院全体の財産として初・中・高等部や教職員の方々も積極的に利用され、健康増進を図っていただくことを望んでいます。

●所在地…東京都町田市小野路町小谷1571番

●地積…46,305.97㎡(約14,000坪)



Club & Circle Information

*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。下記大会演奏会の日程・場所は予定のものです。今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定(2005年8月～11月)

アメリカンフットボール部 関東アメリカンフットボールリーグ戦(9月～11月)
 剣道部 関東学生剣道優勝大会(9月) 関東女子学生剣道優勝大会(9月)
 硬式庭球部(女子) 関東大学テニスリーグ戦(9月)
 硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦(9～10月)
 サッカー部 関東大学サッカー後期リーグ戦(9～11月)
 水泳部 日本学生選手権水泳競技大会(9月)
 柔道部 東京学生柔道大会(9月)
 準硬式野球部 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦(9～10月)
 ソフトテニス部(男子・女子) 関東学生秋季リーグ戦(10月)
 卓球部(男子・女子) 全日本大学対抗卓球大会(8月)

問い合わせ先

〒150-8366 青山学院大学学生部学生課
 Tel 03-3409-7835

チアリーディング部 JAPAN CUP チアリーディング日本選手権大会(9月)
 軟式野球部 東都大学軟式野球秋季リーグ戦(9～10月)
 バスケットボール部(男子・女子) 関東大学リーグ戦(9～10月)
 バドミントン部(男子・女子) 関東大学秋季リーグ戦(9月)
 バレーボール部(男子・女子) 秋季関東大学女子バレーボールリーグ戦(9～10月)
 ラグビー部 関東大学対抗戦(9～12月)

主要活動報告(2005年4月～5月)

硬式野球部 東都大学野球春季リーグ戦 優勝
 ソフトテニス部(女子) 関東大学春季リーグ戦 準優勝(大学王座決定戦出場)
 バレーボール部(女子) 関東大学バレーボール春季リーグ戦 優勝

●スマトラ島沖地震・インド洋津波

災害被災者支援チャリティー・コンサート開催報告

2005年5月14日(土)・21日(土)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂にて、スマトラ島沖地震・インド洋津波 災害被災者支援チャリティー・コンサートが開催されました。コンサートは2日ともに入場無料で行われ、1日目は堀井美和子本学オルガニスト、鷺 晶子本学オルガニスト、細川幸子氏(チェロ)、2日目は飯 靖子本学オルガニスト、波多野せい氏(ヴァイオリン)、飯 顕氏(ヴァイオリン)に演奏いただきました。両日



お願いさせていただきました席上 献金(義援金)は、合計514,409円が集まりました。ご献金いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。献金は、宗教センターより日本キリスト教協議会へ送金し、被災地における緊急人道支援・復興活動に役立てられます。

●対東北学院大学総合定期戦報告

5月28日(土)から30日(月)までの3日間、第56回対東北学院大学総合定期戦が仙台北学院大学キャンパスにおいて開催されました。総合優勝は最終日の最終種目の結果で決するという接戦となり、アイスホッケーを5-2で勝利した本学が8勝7敗1引分で総合優勝を飾りました。通算成績は本学の36勝20敗となりました。



●課外教育プログラム

旬野菜の健康家庭料理

本年度は、定例のプログラムに加え、「食」をテーマにした新たな企画として、6月5日(日)、三鷹市の星野農園において、ジャガイモや玉葱などの野菜を収穫し、その野菜を調理し、食す機会を用意しました。

開催地の星野農園は土を大切に、茄子の生産では首都圏指折りの生産者です。

当日は料理家の指導の下、イタリアン料理を、アンティパスタから始まり3点のメニューを作りました。また、食後は料理家よりドルチェの提供がありました。

参加した学生は、料理が初めての人もいましたが、それぞれ分担を決め、笑いに包まれながらの時間が過ぎました。



最後は庭にテーブルを出し、自分たちで作った料理を楽しく試食しました。

現在は、食の問題が提起されていますが、今回の内容が、食への興味の一端になればと思います。

●バッハ・コレギウム・ジャパン

「J・S・バッハ 教会カンタータのタベ」

2005年6月17日(金)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂にて青山スタンダード「キリスト教理解関連科目」特別講座 バッハ・コレギウム・ジャパン「J・S・バッハ 教会カンタータのタベ」が開催されました。



指揮・オルガン<鈴木雅明(東京藝術大学教授)>ソプラノ<キャロリン・サンブソン>テノール<ゲルト・テュルク>バス<ペーター・コーイ>合唱・管弦楽<バッハ・コレギウム・ジャパン>

プログラム カンタータ第1番《何と美しく輝くことか、暁の星は》
カンタータ第127番《主イエス・キリスト、真の人にして神》
D.ブクステフーデ:《何と美しく輝くことか、暁の星は》

●フィリピン里子訪問旅行報告会

2005年5月18日(水)・19日(木)、フィリピン里子訪問旅行(3月18日(金)~27日(日)実施)の報告会が開かれ、大学から参加した4名の学生が報告を行いました。青山学院ではこれまでNPO法人チャイルド・



ファンド・ジャパン(CFJ 旧:CCWA 国際精神里親運動部)を通じて、貧困のために教育を受けられずにいるフィリピンの子供たち(里子)数名を支援しています。この旅行は、それらの里子たちと直接出会い、その生活に触れることを通じて、この世界が抱える貧困の問題を目の前の隣人の問題として考えていくことを目的として実施されている、「地の塩、世の光」という学院スクール・モットーを具現化するプログラムです。

●清里サマー・カレッジ

静かな大自然の中にある山梨県清里・八ヶ岳寮で、学生と教員が生活を共にしながら、聖書や讃美歌に親しみ、年齢や学部・学科にとらわれずに参加者同士が語り合える機会です。2005年度は8月1日(月)~3日(水)、「あなたは本当に自由ですか?」という主題のもとに開かれます。特別講師に聖学院大学助教授・日本キリスト教団滝野川教会牧師の深井智朗先生をお招きします。本当の自由とは何かについて、一緒にじっくりと考えてみませんか。

お問い合わせ先:青山学院宗教センター TEL 03-3409-6537

●相模原祭のお知らせ

2004年度相模原祭は、台風の影響により、初日が中止となっていました。2005年度の相模原祭は前年度のくやしさをバネにして、既に昨年度の実行委員の学生が中心となって準備に取りかかっています。相模原祭では、これまで、人文・社会科学系学部の1・2年生および理工学部の学生が中心となり、展示会、演奏会、各種模擬店などの催し物の他、理工学部の研究室公開などの特色ある催し物も実施されました。相模原祭も3年目を向かえ、大学内外での注目が高まり、より多くの学生達が参加し盛大なものになるものと思われます。今年の開催日は、10月9日(日)・10日(祝)の2日間です。ご期待ください。

青山学院における個人情報保護への取り組み

2005年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されました。これに基づいて、学校法人青山学院（以下「本法人」）では、幼稚園から大学・大学院までの在学学生、保護者、卒業生、教職員等の個人情報の取扱いについて「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」（2005年4月1日施行）を制定いたしました。

学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱の骨子

1. 法令等の遵守

個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に係る法令その他関係法令及び本法人の諸規則等を遵守いたします。

2. 個人情報の取得

個人情報は、使用目的を明確に定め適正に取得いたします。

3. 個人情報の利用

法令等で定める場合を除き、あらかじめご了承ください。収集時の使用目的以外には、本人の同意を得ることなく利用または提供いたしません。

4. 第三者への提供の制限

法令等で定める場合を除き、個人情報をあらかじめ本人の同意を得ることなく第三者には提供いたしません。

ことなく第三者には提供いたしません。

5. 個人情報の開示及び訂正

本人もしくはその保護者（本人が生徒、児童、園児の場合）または保証人から個人情報の開示、訂正を求められた場合は、必要に応じて対応させていただきます。

6. 個人情報の安全措置

個人情報の漏えい、滅失、毀損、改ざん及び不正アクセスの防止のために、情報セキュリティ対策などの必要な措置を講じます。

7. 委託先の指導及び管理

本法人が個人情報の取り扱いを含む業務を外部に委託する場合は、個人情報の適正な取り扱いについて、講ずべき措置を明確に示し、適切な指導及び管理を行います。

以上のとおり、本法人は個人情報保護へ万全を期して取り組んでまいります。今後とも継続的に見直し、改善に努めてまいります。

学校法人青山学院

大学学費納付について

（大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください）

1. 学費振込依頼書発送時期

- （1）後期振込依頼書発送予定日9月7日（水）【納入期限9月30日（金）】
- （2）学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛（申し出のあった場合は学生宛）に送付致します。
- （3）学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料は無料です。
その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合等での振込みは、振込手数料が必要になります。

※注意 自動振込機による振込は絶対にしないようご注意ください。
（学費納入の確認が不可能のため）

2. 下記事項問い合わせ先（学費未納等事故防止のため）

- （1）住所変更（保証人・本人）→学生部厚生課（青山キャンパス）
学生生活グループ（相模原キャンパス）
- （2）休学・退学希望者 →昼間部（3・4年）および第二部は学務部教務課（青山キャンパス）
昼間部（1・2年、理工学部全学年）は学務グループ（相模原キャンパス）
- （3）学費振込依頼書紛失 →経理部出納課
- （4）転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等の学生の学費は、経理部出納課にお問い合わせください。

3. 延納を希望する場合は、納入期限までに各キャンパスの学生部または学生生活グループへ願い出てください。

無断で学費を滞納すると除籍になる場合もありますので注意してください。

青山キャンパス 03-3409-8111（代表）
相模原キャンパス 042-759-6000（代表）

2005年度後期学費一覧表（入学年度別）

単位：円

学 部	2005年度後期学費一覧表（入学年度別）			
	2005年度入学生	2004年度入学生	2003年度入学生	2002年度入学生
	後 期	後 期	後 期	後 期
文 学 部				
経 済 学 部				
法 学 部	380,500	380,500	380,500	380,500
経 営 学 部				
国際政治経済学部				
理 工 学 部	549,000	549,000	549,000	549,000
文 学 部 第 二 部				
経 済 学 部 第 二 部	242,000	239,000	239,000	239,000
経 営 学 部 第 二 部				

・上記以外に、教育職員免許状取得の希望を申請した者は教職課程料として14,000円、各種資格取得を希望する者は、資格課程料（司書教諭6,000円、司書4,000円、社会教育主事4,000円、学芸員4,000円）が後期学費に加算されます。（在学中1回徴収）

・上記学費一覧表は、転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は除きます。

経理部出納課 03-3409-6479（直通）

学部4年次留年生（在籍5年目以上（休学期間を除き）で4年次に留年した学生）の後期学費納付について

1. 学費振込依頼書発送時期

後期履修登録後の発送になります。

10月14日（金）発送予定【納付期限11月4日（金）】

2. 納入金額

① 前期分所定の学費（前期授業料および諸費）で納入の学生

→後期学費は、4年次所定の後期学費（後期授業料）となります。

前期設置科目申請単位数、通年設置科目申請単位数だけで、すでに「年間所定の学費上限単位数」に達しておりますので、後期設置科目申請単位数に関わらず前期・後期とも所定の学費となっています。

② 前期申請単位計算学費（費目は授業料のみで納入）で納入の学生

→後期学費は、「後期設置科目」履修申請単位数による単位料となります。（申請単位数×単位料）

前期設置科目申請単位数、通年設置科目申請単位数と後期設置科目申請単位数の合計が「年間所定の学費上限単位数」に達した場合は、所定の年間学費と前期納入済学費との差額をもって上限といたします。

納入予定額の確認につきましては、経理部出納課にお問い合わせください。

経理部出納課 03-3409-6479（直通）



矢吹 初
経済学部 教授

誌上公開講座 No.28

青山スタンダード

教養コア科目

社会理解関連科目

「現代社会の諸問題(総合科目)」

「教養コア科目」は、キリスト教理解・人間理解・社会理解・自然理解・歴史理解という5つの領域から構成されています。単なる知識ではなく、学生が自分自身との関連において授業テーマを理解することを目的とした科目群で、各領域で専門分野が異なる3名の教員がオムニバス形式で講義を行う「総合科目」を設置していることが大きな特色です。

今回の「誌上公開講座」では、「総合科目」の一例として社会理解関連科目の「現代社会の諸問題」を紹介します。



まず「総合科目」という特殊な授業形態について説明しておく必要があるでしょう。大学での授業は通年であるとか半期であるとか時間的な区別はされますが、基本的には一つの科目は単独の教員が担当します。これは大学の教員がある特定領域の専門家としての側面を持っているためです。しかし本学の青山スタンダードの「総合科目」では半期の科目を3人の教員が担当します。それぞれの教員が担当する延べ講義回数は4回程度。この回数ではいわゆる専門的な内容を講義することは難しいです。このためわれわれ担当者にとっても「総合科目」は新たな取り組みであったわけです。

そこでわれわれは次の2つの点に注意しながら授業の構成を考えています。第1は現実的な問題を取り上げることです。幸い、私たちの担当授業は「現代社会の諸問題」ですから、現実問題には事欠きません。学生が関心を持てるような身近なテーマを選択することとしました。第2がその現実的なテーマの枠組みのなかでなるべく平易に専門的な知識を伝えることです。社会にある問題、たとえば私の専門分野である政府の問題などにも



多くの誤解と偏見が見受けられます。これはこれまで十分な説明をしてこなかった政府や政治家などの責任を大としなければなりません、一方で国民の側も自ら学ばず、政府・政治家任せにしてきたことの責任は問われるべきでしょう。専門的な知識を獲得することは容易ではありません。そこでわれわれの授業ではこのような社会に関連する専門的な知識のエッセンスを伝えることができれば、と考えました。

われわれは経済学の教員ではありますが、それぞれの専門分野は異なっています。経済学でも分野が異なると、ものの見方、考え方は異なってきます。「考え方の異なる教員が共通のテーマで講義を行うことにより、新たにハイブリッドな知識が身につくはず」というのが、この「総合科目」の意義であると考えています。そこで各教員が専門領域から学生にとって有益と考える3つのピックを選択しました。

1. グローバル化の諸問題

(国際政治経済学部 内山義英助教授)

近年、わが国では「グローバル化」が目まぐるしく注目を浴びています。国際社会との緊密性の高まりとともに、わが国でもさまざまな影響が議論され、例えば「現在の厳しいリストラを招いた要因の一つは、中国をはじめ、アジアの国々からさまざまな安い製品が日本国内に流入してきたからだ」という見方があります。この見方が本当に正しいのか、あるいはどの程度影響を与えているのか、ということはわが国にとって重要な問題です。そこで本講義では、このようなグローバル化に伴い発生する諸問題

の中から、特に貿易取引に伴う問題を検討します。

2. 「労働」から見た経済と社会

(経済学部 松尾孝一助教授)

第二次大戦後の日本社会の安定を支えてきた日本の雇用構造は、1990年代以降、長期にわたる経済停滞やIT化・グローバル化のなかでその根幹が揺さぶられています。本講義では、従来の日本の雇用構造がいかなる特質を有してきたのか、それが近年どのような方向に変わりつつあるのかという視点から、雇用の問題を中心とした日本経済・社会の現状について概説。この講義を通じて労働の分野を中



心とした経済・社会の入門的な知識と理論を習得し、もって社会認識の力をつけていただければ幸いです。

3. 政府活動の捉え方の基礎

(経済学部 矢吹初教授)

近年、年金、消費税、公団・公社の民営化、地方分権など政府の問題が取り上げられる機会が多くなっています。これらはわれわれの生活に密着した問題であり、国民ひとりひとりが十分に考えていかなければならない問題です。そこで本講義では政府活動の問題をきちんと捉えるための基礎部分を概説します。



こんなに包括的な社会科学の内容を半期で手に入れることができるのが「総合科目」のメリットのひとつなのだと思います。

夏期休業期間中の窓口案内

対象期間 8/1(月)～9/24(土) ※事務室移転のため変更になる場合があります。
一斉休業期間 8/1(月)～8/6(土) ※詳細は各キャンパスの掲示板をご覧ください。

部 署	窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
庶 務 部	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	9/13(火)より平常通り
	8/8～9/12	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	
教 務 課	9/13～9/24	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	9/26(月)より平常通り
	9/13～9/24	土	9:00～19:00(11:30～14:00は除く)	
教 職 課 程 課	8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	
	9/13～9/24	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/26(月)より平常通り
学 生 部	8/8～9/12	月・水・金	9:00～19:00(12:00～13:00は除く)	
	9/13～9/24	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	9/26(月)より平常通り
進路・就職センター事務室	8/9～9/12	月～金	9:00～11:30、12:30～15:30	
	9/13～9/25	月～土	9:00～11:30、12:30～16:00	土曜のみ9:00～12:00
進路・就職センター資料室	8/9～9/12	月～金	9:00～16:00	
	9/13～9/25	月～土	9:00～17:00	土曜のみ9:00～13:00
図 書 館	8/8～9/12	月～土	9:00～19:00(土曜のみ12:00～19:00)	9/13(火)より平常通り 休館中の本の返却は 図書館正面のブックポストに入れてください
専 門 職 大 学 院 事 務 室	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
大 学 院 事 務 室	8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	
広 報 入 試 セ ン タ ー	9/13～9/24	月～土	9:00～18:30(11:30～12:30、16:00～17:00は除く)	土曜のみ9:00～13:00(11:30～12:30は除く)
総 合 研 究 所 事 務 室	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー	8/8～9/12	月～金	9:00～19:00	
	9/13～9/24	月～土	9:00～19:00	9/26(月)より平常通り
国 際 交 流 セ ン タ ー	8/8～9/12	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー	8/8～9/12	火・金	9:00～19:00	
	9/13～9/24	月～金	9:00～19:00	9/26(月)より平常通り
学 生 相 談 セ ン タ ー	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	
	9/13～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ11:30まで)	9/26(月)より平常通り
保 健 管 理 セ ン タ ー	8/8～9/12	月～金	9:00～15:30	
	8/17～8/24	月～金	9:00～15:30、17:30～20:00	9/26(月)より平常通り
	9/13～9/24	月～土	9:00～16:00(土曜のみ11:30まで)	11:30～12:30は除く
	8/8～9/9	月～金	9:00～16:00	
宗 教 セ ン タ ー	9/12～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/26(月)より平常通り
	9/12～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	

ユニット	グループ	窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
学 生 支 援 ユ ニ ッ ト	ス チューデントセンター				
	学 務 グ ル ー プ	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)～9/24(土)
	進 路 グ ル ー プ				月～金 9:00～16:00 (11:30～12:30は除く)
	国 際 交 流 グ ル ー プ				(土曜のみ11:30まで)
	学 生 生 活 グ ル ー プ	8/8～9/12	火・金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/26(月)より平常通り
教 育 ・ 学 習 支 援 ユ ニ ッ ト	健康管理グループ(健康管理センター事務室)				
	健康管理グループ(学生相談センター事務室)				
	授 業 支 援 グ ル ー プ	8/8～9/12	火・金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
	情報教育支援グループ(情報科学研究センター)	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00	
	9/13～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/26(月)より平常通り	
研 究 支 援 ユ ニ ッ ト	図 書 グ ル ー プ (図 書 館)	8/8～9/12	月～土	9:00～16:00(土曜のみ12:00から)	9/26(月)より平常通り
	9/13～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)		
	メ ディア ラ イ ブ ラ リ ー グ ル ー プ	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
企 画 支 援 ユ ニ ッ ト	研 究 支 援 グ ル ー プ				
	企 画 グ ル ー プ				
	企 画 ・ 渉 外 ・ 庶 務 ユ ニ ッ ト	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/13(火)より平常通り
経 理 ・ 施 設 ユ ニ ッ ト	地 域 渉 外 交 流 グ ル ー プ				
	庶 務 グ ル ー プ				
宗 教 セ ン タ ー	経 理 ・ 施 設 グ ル ー プ				
	8/8～9/12	月～金	9:00～16:00		
	9/13～9/24	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	9/26(月)より平常通り	

2005年度青山学院大学公開講座について

本学では、大学での教育および研究の成果を広く社会に開放し、社会人の教養を高め、文化の向上に資することを目的に、地域社会への貢献という使命から、1990年より公開講座を開講しています。

青山キャンパス、相模原キャンパスの他、本学キャンパス以外での公開講演会も開催しています。また、渋谷区との共催による講座(青山キャンパス)や相模原市の市民大学としての講座(相模原キャンパス)も展開しています。

テーマはいずれも今日関心をもたれている諸問題について取り上げ、また受講者の声を反映し年齢、性別にとらわれることなく参加していただけるよう設定しています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【公開講座・公開講演会ガイドブックの送付について】

2005年度公開講座ガイドブックを無料で郵送します。ご希望の方は下記のいずれかの方法でお申し込みください。

●ウェブサイトからの申し込み

<http://www.aoyama.ac.jp/extension/index.html>からお申し込みください。

●はがきによる申し込み

官製はがきに、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、下記まで郵送してください。

●電話による申し込み

下記までお電話ください。

公開講座・公開講演会に関するお問い合わせ先

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学庶務部庶務課(公開講座担当) TEL. 03-3409-7955(直通)

第12回青山学院大学 同窓祭開催のお知らせ

2005年9月23日(祝)午前10:00～青山キャンパスにて開催します。今年も開会礼拝に始まり、松本孝弘氏(B'zギタリスト)ライブコンサート、フォーラム2005(北原照久横浜プリキのおもちゃ博物館館長・岩岡洋志新横浜ラーメン博物館館長・中田宏横浜市長・蓮舂参議院議員)など注目企画に加え、青山寄席・公開講座・法律税務等無料相談・体育会OB会による催事・福引抽選会等、例年好評の企画や、近年休止していたバザーの復活、パフォーマンスストリート等、新企画目白押しです!夕刻からは青学会館にて懇親パーティーを開催。詳細は同窓祭ホームページ<http://aogaku-doso.net>をご覧ください。

お問い合わせ先

大学同窓祭実行委員会事務局

TEL. 03-3409-8990

E-mail : alumni@netlaputa.ne.jp

2006年度入学試験日程

●一般入学試験

学部・学科・コース・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日		
理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 機械創造工学科 情報テクノロジー学科 電気電子工学科 経営システム工学科	1/6(金)～1/27(金) 郵送受付に限り ます (締切日消印有効)	2/10(金)	2/17(金)	2/24(金)		
		2/11(土)				
		2/13(月)				
		2/14(火)				
文学部 教育学科(B方式) 英米文学科(A方式) フランス文学科(A・B方式) 日本文学科(B方式) 史学科 心理学科昼間主コース 教育学科(A方式) 英米文学科(B方式) 日本文学科(A方式) 心理学科夜間主コース	1/6(金)～1/31(火) 郵送受付に限り ます (締切日消印有効)	2/15(水)	2/21(火)	2/28(火)		
		2/17(金)			2/23(木)	3/2(木)
		2/18(土)			2/24(金)	3/3(金)
		2/19(日)			2/25(土)	3/6(月)
		2/27(月)			3/4(土)	3/13(月)
		2/19(日)のみ				
		2/15(水)			2/21(火)	2/28(火)
		2/17(金)			2/23(木)	3/2(木)
		2/18(土)			2/24(金)	3/3(金)
		2/19(日)			2/25(土)	3/6(月)

●大学入試センター試験利用入学試験

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	
理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科	1/6(金)～1/21(土) 郵送受付に限り ます (締切日消印有効)	1/21(土)	2/17(金)	2/24(金)	
		1/22(日)			
		2/21(火)			2/28(火)
		2/23(木)			3/2(木)
国際政治 経済学部 国際政治学科 国際経済学科	2/24(金)	3/3(金)			
経済学部 経済学科	2/25(土)	3/6(月)			

*2006年4月開設予定、出願期間・試験日等の日程については予定です。
 ※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を許可された者の入学完了手続締切日は3月24日(金)です(正規合格者のみ対象)。
 ※一般入学試験と大学入試センター試験利用入学試験は併願でき、大学入試センター試験利用入学試験は複数併願が可能です。

アドバイザーグループ紹介②

タウンウォーキング〈井上アド・グル〉

井上アド・グルの活動テーマは、東京とその周辺の街のタウンウォーキング。観光化されていない普段着の町をウォーキングすることにより、その土地の風土や歴史を知る喜びを味わいます。「自分の住んでいる街を案内してほしい」と私が言うと、多くの学生は「案内すべき場所がない」と答えます。しかし、どんな街にも歴史があり、興味深いエピソードが隠さ



2005年度進学相談会後期開催日程

8/9(火)	札幌	アスティ45	8/11(木)	広島	広島グリーンアリーナ
9/16(金)	高崎	高崎サンパレス	9/5(月)	高知	高知新飯急ホテル
9/7(水)	長野	ホテルメトロポリタン長野	9/6(火)	徳島	ホテルクレメント徳島
9/8(木)	長岡	ホテルニューオータニ長岡	9/13(火)	高松	全日空ホテルクレメント高松
9/9(金)	新潟	ホテル新潟	9/14(水)	松山	愛媛県県民文化会館
8/6(土)	横浜	パシフィコ横浜	9/12(月)	長崎	長崎プリンスホテル
9/12(月)	金沢	金沢全日空ホテル	9/13(火)	徳島	ホテルクレメント徳島
9/13(火)	福井	フェニックスプラザ	9/14(水)	熊本	ホテル日航熊本
9/14(水)	富山	富山全日空ホテル	9/15(木)	大分	トキハ会館
9/3(土)	静岡	ツイン・メッセ静岡	9/29(木)	福岡	ソラリア西鉄ホテル
			10/3(月)	宮崎	MRT micc
			10/4(火)	鹿児島	鹿児島アリーナ

※開催日、会場等は変更になる場合がありますので、広報入試センター広報課にお問い合わせください。
 ※進学相談会の全日程を本学ホームページ(入試・入学案内)にも掲載しています。

News Index 2005.5～2005.6

2005年5月～6月までに大学ウェブサイトに掲載されたニュースの主なタイトルを掲載しています。

05年5月

- 理工学部 小川 武史教授らの共同研究論文が「日本複合材料学会論文賞」を受賞
- 内閣府男女共同参画局チャレンジ・キャンペーンに参画
- 日経BPムック「変革する大学」シリーズ「青山学院大学2005-2006年度版」が発行
- 相模原キャンパス ランチタイム・コンサート



日経BPムック「変革する大学」

05年6月

- 青山学院大学大学院法学研究科ビジネスローセンター(ABLS)主催「アジア諸国におけるビジネスローセミナー」
- 「リスクマネジメント トップセミナー」



公開セミナー「WTOとFTA」

前期終了科目成績通知について

9月中旬以降、各キャンパス内設置の学内情報端末および学生証リーダー付PCにて各自で成績通知書を出力してください。

AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

- なお、「AGUニュース」を確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。

青山キャンパス→学生部厚生課
 事務取扱窓口
 相模原キャンパス→学生部厚生課